

## ▼アゼラスチン錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 アゼラスチン塩酸塩 Azelastine Hydrochloride 【分類】 アレルギー性疾患治療剤

【単位】 ▼0.5mg・▼1mg錠

【常用量】 ■気管支喘息：1回2mg, 1日2回■アレルギー性鼻炎及び皮膚炎：1回1mg, 1日2回

【用法】 1日2回, 朝食後と寝る前

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【特徴】 フタラジノン誘導体で1日2回型の抗アレルギー剤。ケミカルメディエーターの遊離抑制・拮抗作用, 炎症細胞の遊走・浸潤や活性酸素産生の抑制作用がある。

【主な副作用・毒性】 眠気, 倦怠感, めまい, 頭痛, 手足のしびれ, 口渇, 悪心・嘔吐, 動悸, 発疹, 排尿困難など

【F】 95% (1)

【tmax】 4~6hr (1) 4.6hr (Riethmuller-Winzen H, et al: Arzneimittelforschung 44: 1136-40, 1994 PMID: 7818588)

【代謝】 肝ミクロソームにより, 6-OH 体, N-脱メチル化, N-methylhexahydroazepinyl 基の酸化 (7-oxo 体) により代謝 (1) 主代謝物は6-OH 体で弱い活性がある (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 2.5% [po, 72hr まで] (1) 尿中回収率 26% [iv] (1)

【CL】 資料なし (1)

【t1/2】 16.5hr (1) 25.5hr (Riethmuller-Winzen H, et al: Arzneimittelforschung 44: 1136-40, 1994 PMID: 7818588) 高齢者で 38hr に延長 (Peter G, et al: Arzneimittelforschung 45: 576-81, 1995 PMID: 7612056)

【蛋白結合率】 80~84% (1)

【Vd】 資料なし (1)

【MW】 418.36

【透析性】 資料なし (1) 蛋白結合率が高く, 透析性は大きくないと思われる (5)

【O/W 係数】 6.5 [1-オクタノール水系] (1) 【pKa】 9.5

【相互作用】 未変化体および代謝物の CYP2C9, 2C19, 3A4 阻害作用はごく弱い (Nakajima M, et al: Drug Metab Dispos 27: 792-7, 1999 PMID: 10383922)

【主な臨床報告】 アゼラスチンとステロイドの点鼻薬併用で相加効果 (Bernstein JA: Curr Med Res Opin 2007 PMID: 17723160)

【更新日】 20240930

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。